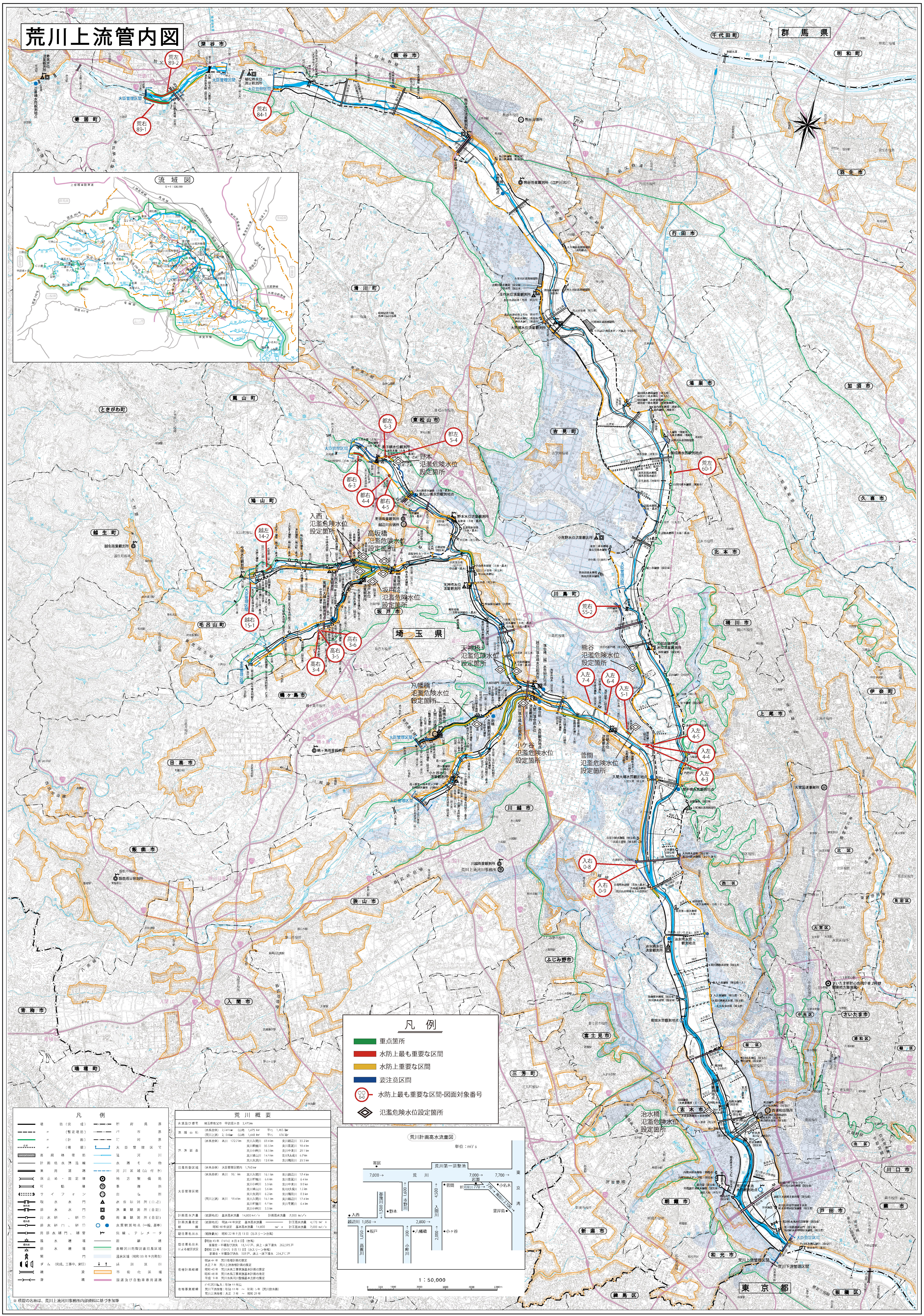
荒川上流河川事務所管内　令和６年度　直轄河川重要水防箇所平面図



荒　川　概　要

水源及び標高	埼玉県秩父市　甲武信ヶ岳　2,475m
流域面積	（水系全体）2,940 km²（山地 1,475 km²　平地 1,465 km²） （荒川上流）2,104 km²（山地 1,448 km²　平地 656 km²）
流路延長	（水系全体）本川 172.7 km 支川入間川 69.4 km　支川越辺川 35.2 km 支川都幾川 35.5 km　支川高麗川 39.4 km 支川小畔川 18.5 km　支川中津川 29.1 km 支川浦山川 14.3 km　支川大久保川 6.7 km 支川大洞川 12.6 km　支川隅田川 23.5 km
氾濫防御区域	（水系全体）大臣管理区間内　1,760 km²
大臣管理区間	（水系全体）本川 96.1 km 支川入間川 16.1 km　支川越辺川 17.4 km 支川都幾川 6.6 km　支川高麗川 6.4 km 支川小畔川 5.3 km　支川中津川 9.0 km 支川浦山川 5.6 km　支川大久保川 1.9 km 支川大洞川 6.2 km　支川隅田川 0.3 km （荒川上流）本川 59.4 km 支川入間川 16.1 km　支川越辺川 17.4 km 支川都幾川 6.6 km　支川高麗川 6.4 km 支川小畔川 5.3 km
計画高水流量	（岩淵地点）基本高水流量 14,800 m³／s　計画高水流量 7,000 m³／s
計画流量改定経緯	（岩淵地点）明治44年決定　基本高水流量 ――――　計画高水流量 4,170 m³／s 昭和48年決定　基本高水流量 14,800 m³／s　計画高水流量 7,000 m³／s
既往著名出水	（戦後最大）昭和22年9月13日（カスリーン台風）
既往著名出水による被災状況	【明治43年（1910）8月8日】（台風） 家屋全・半壊及び流失　18,147戸、床上・床下浸水　262,595戸 【昭和22年（1947）9月13日】（カスリーン台風） 家屋全・半壊及び流失　509戸、床上・床下浸水　204,710戸
改修計画経緯	明治44年　荒川改修計画の策定 大正7年　荒川上流改修計画の策定 昭和40年　荒川水系工事実施基本計画の策定 昭和48年　荒川水系工事実施基本計画の改定 平成19年　荒川水系河川整備基本方針の策定
改修事業経緯	直轄河川編入：明治44年度 荒川下流改修：明治44年　～　昭和5年（荒川放水路） 荒川上流改修：大正7年　～　昭和29年

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の５万分の１地形図を複製したものである。（承認番号　平24関複、第88号）」

株式会社パスコ調製

禁複製転載

平成二十五年三月現在

国土交通省荒川上流河川事務所